

親子聖書日課

NO.1628 2019.12/8-14

名前

[日]ダビデは苦難の中で主の奇しき救いを経験します。「主は私の岩、砦、逃れ場、避け所、盾・・・」と主を賛美しましたが、とても言葉では言い尽くせなかったでしょう。自分の弱さを知ったので、主の力を頂いて、困難に立ち向かうことができました。

[月]自然は「第二の聖書」と言われるほど、神のメッセージで満ちています。自然に親しむことは、よい伝道です。それ以上によい伝道は、御言葉を宣べ伝えることです。「主の律法は完全で、魂を生き返らせ」ますから、御言葉を大胆に語りましょう。

[火]「信仰だけでは不安だ、お金も地位も財産も必要だ」と思う人は、戦車や馬を誇るのと同じです。しかし、そんなものは幾ら強力に見えても、頼りになりません。見えるものは、一時的です。「主の御名を唱える」なら、どんな中でも勝利があります。

[水]「主に依り頼む」主との交わりの中でこそ、祝福や命、栄光や喜びが与えられるのです。困った時の神頼みではいけません。日頃から御言葉に聴き、礼拝や祈禱会に参加し、主を賛美するなら、信仰生活は「決して揺らぐことがない」のです。

[木]2節は主の十字架上の言葉として有名です。この言葉だけですと、神の子も「万事休す」と思えるのですが、最後になると、賛美や感謝で溢れています。それは主が死から復活されたからです。苦難の中でも、賛美できることは感謝です。

[金]23編は「詩編の中の真珠」と言われています。主は羊飼いとなって、正しい道に導き、必要なものを一切与えて下さいます。死に勝利された主が共におられるので、死も恐れません。主を信じる生涯は、「恵みと慈しみ」が追いかけてきます。

[土]主は清い方ですから、私達も「清い心をもつ」必要があります。但し、それは道徳的な清さではありません。ヤコブは道徳的には欠点の多い人でしたが、主に依り頼み、悔い改めたので、清い心をもてたのです。今日のヤコブになりましょう。



	聖書	問題	答え
日	詩編 18:1-51	主よ、私の力よ、私はあなたをどうしますか。	
月	19:1-15	主の律法は完全で、魂をどうして下さいますか。	
火	20:1-10	我らは、我らの神、何を唱えますか。	
水	21:1-14	王は主にどうしましたか	
木	22:1-31	主を畏れる人々よ、主をどうすべきですか。	
金	23:1-6	主は魂をどうして下さいますか。	
土	24:1-10	聖所に立つことができるのは、潔白な手と何をもつ人ですか。	
感想と祈りの課題			